

租税教室 シナリオ (小学校実践モデル) H20 内容・感想

たのしい税金教室 ≠ やさしい納税教育 を意識 楽しい税金クイズも好評 (課税・徴税・納税)

項目	流れ	ポイント
自己紹介	<p>みなさん、こんにちは。 私は、市役所から来た__です。 見てのとおり、私はけっこう背が高いですが、 この中で一番背が高いのは誰ですか？ (→〇〇さん) じゃあ今日は〇〇さんに協力してもらいます。 〇〇さん、よろしくおねがいします。</p>	<p>1分以内に 児童を 惹きつける ≠ ひかせる</p>
税金とは	<p>今日は、みなさんに税金のお話をしに来ました。 でも、税金のお話をする前に、少しお金の意味を考えておきたいと思います。 皆さんは、欲しいものを手に入れるとき、何をするでしょうか。 例えば、「夏の暑いときにガリガリ君を食べたい」と思ったら、 どうしますか、〇〇さん？ (→お金を持ってコンビニに買いに行く) そうですね、お金を持って買いに行きますね。 このとき、お金をガリガリくんに変換しています。</p> <p>一般的に、欲しいものを手に入れるとき、 「自分で作る(体)」か「誰かと何かを交換する(技)」という方法があります。 ガリガリくんは自分で作れないので、お金で買いに行きますね。 逆に考えると、ガリガリくんを作っている会社は、 ガリガリくんをお金に変換しています。会社はお金が欲しいのです。 でも、実はもう一つガリガリ君を手に入れる方法があるのですが、 分かりますか、〇〇さん？ → ×親に買ってもらう ×当たり棒と交換 (「騙す」「盗む」「奪う」に近い答えを期待、 困っていたら「じゃあ、誰かに助けてもらってもいいですよ」)</p> <p>そうですね、世の中には「持っている人から泥棒する(心)」という 方法もあります。でもそれは絶対ダメです。 悪いことをして欲しいものを手に入れている人がいるのは残念なことです。 みんながそうしないのは、泥棒や強盗が悪いことと法律で決められていて、 法律を守れない人は警察に逮捕されてしまうからでしょうね。 ですから、今の世の中で欲しいものを手に入れる方法は、 「お金で買う」ことになります。お金は「仕事」をがんばって稼ぎます。</p> <p>社会の授業で歴史の勉強もしていると思いますが、 昔のお金は、大きな石や宝石だったり純金でできたコインや小判だったり、 その時代によってお金の形が変わります。 現代社会では、世界中でただの紙に法律で価値を保障するという、 不思議な社会になっていますが、それは中学校や高校で勉強してください。 (→紙幣に価値を持たせるため、政府は「仕事」を作り続ける必要がある)</p> <p>さて話を税金に戻しますが、「自分で作る」の限界を広げて、ほかの人に 助けてもらい「みんなで作る」「みんなで買う」という方法もあります。</p>	<p>お金が動く 意味</p> <p>泥棒でも、 騙す(心) 盗む(技) 奪う(体) に分かれる</p> <p>米や布も 税になる</p>
例題の確認	<p>みんなで協力して何かしようという考えに必要なのが税金です。 みなさんには例題を読んで宿題をやってきてもらったと思いますが、 まず、誰かに例題を読んでもらいましょう。 〇〇さん、この中で一番声の大きい人を指名してください。(→△△さん) じゃあ△△さん、例題を読んでください。 ・・・・ありがとうございます。 例題の答えでは、税金を10万円ずつ、リングを2個ずつとしましたが、 それ以外の人はいますか？ (いないと想定)</p>	<p>意見のない ほうが 時間的に 助かる</p>

<p>宿題を話し合う</p>	<p>では次に、やってきた宿題のみんなの答えから、グループの中で一つにまとめて欲しいと思います。全く新しい答えがでて構いません。すでにグループに分かれて班長さんも決まっていますね。(6班×2クラスで12班)</p> <p>班長さんは10分ぐらいで意見をまとめてください。あとで集計を取ります。では班ごとにわかれてスタート!</p>	
<p>グループ意見の報告</p>	<p>まとまりましたか? では、リンゴの数を変えた班はありますか、、、(ホワイトボードに班の件数と状況を書く、ほとんどが3こずつ) 変えた班は、どの方法ですか? いくらずつ集めますか? じゃあ、「橋を作る(A)」を選んだ班は手を上げて、(ほとんどがAか) そのとき税金は、、、(ここは意見が分かれるか) 「タロウに取りに行かせる(B)」「ハナコに取りに行かせる(C)」では、いくらずつですか(村長だけが払う? 30万円より少なくしてくるはず)</p>	<p>どれも正解(人に考えを言う)</p>
<p>総評</p>	<p>今回、いろんな意見がでてきましたが、(個別に意見を聞いてみる等、時間によって調整) Aを選んだグループについては、税金で公共事業を行うということです。学校や図書館や公園、グランシップや静岡空港をつくることと同じです。BとCは、税金で公務員を雇うということです。Aを選ぶのは確かに簡単・確実な解決策ですがお金がかかります。ですから、BやCで税金を安くする工夫も大切です。</p> <p>あと、リンゴの数を同じにするのは「結果の平等」、集めるお金を同じにするのは「機会の平等」といいます。機会とは英語で「チャンス」のことです。機会の平等を選ぶことは、お金を持たない子供やお年寄り、リンゴが減らされる世の中になります。逆に「結果の平等」を選ぶことは、頑張っても頑張らなくても同じリンゴを食べることができるので、みんながお金を稼ごうと頑張らない世の中になります。</p> <p>日本では、いろいろな税金を両方混ぜた方法で集めています。今、日本は少子高齢化に向かっていきますから、働く世代の人数が減ってきています。ですから税金が今まで以上に必要となるので、「結果の平等」では行き詰ってきて「機会の平等」に向かっていきます。〇〇さんは大きくなったらどんな仕事をしたいか考えていますか?(→どんな答えがでてOK) 夢に向かって頑張ってください。</p> <p>ちょっと話がそれますが、世界で一流と言われる人は、「心・技・体」が三拍子そろった人のことです。私や小学校の先生は、ハナコさんのように「技」を使う公務員として、命を懸ける警察や消防士はタロウさんのような「体」を使った公務員です。社会全体のために働いて、税金というお金を「心」としてもらいます。でも一流の人は、お金が「心」なのではなく「オリンピック金メダル」「ノーベル賞」等の名誉を「心」として求めます。そして、夢や希望の形でみんなに「心」を与えてくれます。</p> <p>話を戻しますが、小学校や中学校の義務教育は「機会の平等」です。これからみなさんがどんな勉強をしてどんな仕事をするかで、大人になったとき食べられるリンゴの数が変わってくることを良く考えてください。また、消費税の増税は子供やお年寄りの食費にも税金を掛けるということです。これからの日本を背負うキミたち子供が大きくなるために、なぜ税金が必要なのか、理由をしっかりと考えてください。</p>	<p>BかCがあれば、効果があった</p> <p>公務員=税金泥棒?</p> <p>心を与える→愛と平和又は争い</p> <p>ネタ-沖縄の人頭税石</p>
<p>課題の配布</p>	<p>最後になりますが、みなさんに課題を配ります。(課題を配布・・・) 実はこの課題には答えがありません。おうちの方の考えも聞いてみてください。税金を払いたくないという人がいると何もできなくなります。リンゴを独り占めする人や泥棒がいても困ります。だけど、考えるのが面倒くさいというのが一番困ります。</p> <p>村長が損をすれば、村長になりたい人がいなくなります。9月に福田総理が辞めて、今は麻生総理になりました。国会の意見がまとまらず解散総選挙の話が出ていましたが、最近「定額給付金」で揉めています。これも同じです。どう税金を集めて何に使うのか、公務員はどうやって選ぶべきか、しっかり考えられる人になってもらいたいと思います。以上で今日のお話を終わります。どうもありがとうございました。</p>	<p>共存に必要な正義や競争とは何かを考えると税金や政治の課題</p>

(例題) 裏が宿題になっています。こちらを先に読んでから宿題をしてください。

あなたはシズシズ村の村長です。シズシズ村は一つの島になっています。

シズシズ村には、体が大きなタロウさんと小さなハナコさん、みんなで3人が住んでいます。

すぐ隣りに無人島があって、リンゴの木にリンゴが毎日6個育ちます。

無人島まで橋をつくるのには30万円必要です。橋が出来ればみんな自分で取りに行けます。

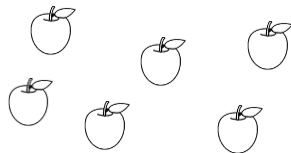
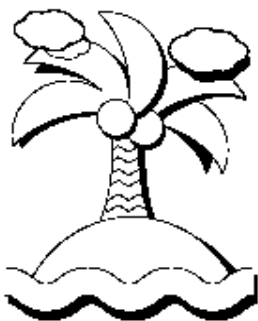
あなたは村長として、橋をつくることにしました。

もし、あなたもタロウさんもハナコさんも、みんなそれぞれ20万円ずつもっているとき、

3人からいくらずつ集めて、何個ずつリンゴを分けますか？

そう考えた理由も簡単に書いてください。

※「リンゴが0個」の人がいたり、「リンゴ1個(=10万円)の人から20万円集める」
のように、リンゴの価値よりも税金が大きくなる人がいたりしてはダメです



リンゴが6個



橋を作ると30万円

みんなのお金の合計

60万円

(リンゴ1個=10万円)



答えの例

	リンゴ	集めるお金(税金)
あなた	20万円 → 2個	10万円
タロウ	20万円 → 2個	10万円
ハナコ	20万円 → 2個	10万円

理由 → 集めるお金もリンゴも、同じにすればみんな平等・公平だから

※もし、村長だけ増やした(減らした)とき、または体の大きい小さいで増やした(減らした)ときは、当日ぜひ理由を公表してください。

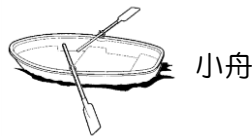
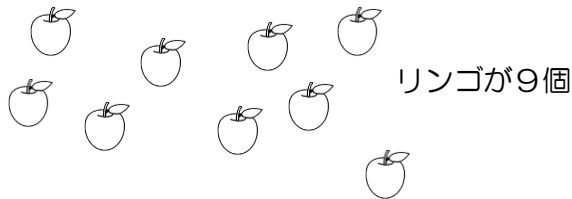
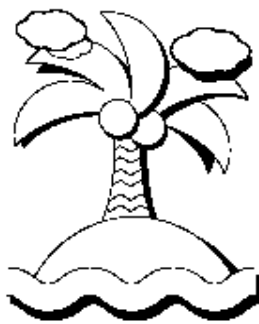
宿題（裏の例題を先に読んでから考えてください）

今日からあなたはシズシズ村の村長になりました。シズシズ村は一つの島になっています。シズシズ村には、体が大きなタロウさんと小さなハナコさん、みんなで3人が住んでいます。すぐ隣りに無人島があって、リンゴの木にリンゴが毎日9個育ちます。

無人島まで橋をつくるのには30万円必要です。橋が出来ればみんな自分で取りに行けます。また、村には小舟が1つあります。

タロウさんは重いので小舟に乗れませんが、泳げるので橋はいらないと思っています。ハナコさんは小舟に乗って取りにいけますが、泳げなくて怖いので橋が欲しいと思っています。あなたは、重くて小舟に乗れないし泳げないので、いつもお金をあげて取ってきてもらいます。

もし、あなたが40万円、タロウさんが30万円、ハナコさんが20万円もっているとき、あなたは橋をつくれますか？ つくるなら、3人からいくらずつ集めますか？ つくらないなら、どちらにリンゴを取ってきてもらいますか？ お金を集めて渡しますか？ そして、何個ずつリンゴを分けますか？ そう考えた理由も簡単に書いてください。



みんなのお金の合計

90万円

(リンゴ1個=10万円)



答え

取りに行く方法 : 橋をつくる ・ タロウに行かせる ・ ハナコに行かせる

取りにいけないあなた 40万円→ リンゴ 個、税金 円

泳げるタロウ 30万円→ リンゴ 個、税金 円

小舟に乗れるハナコ 20万円→ リンゴ 個、税金 円

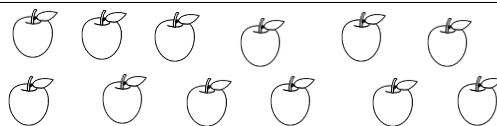
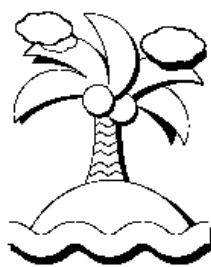
理由 :

◎課題A（裏も見てください）

あなたはシズシズ村に住んでいて、子供が一人います。シズシズ村は一つの島になってます。体が大きなタロウさんがシズシズ村の村長をしていて、体の小さなハナコさんもいて、全部で4人が住んでいます。

少し離れたところに無人島があって、リンゴの木にリンゴが毎日12個育ちます。無人島まで橋をつくるのには50万円必要です。橋が出来ればみんな自分で取りに行けます。また、村には壊れた小舟が一つあります。小舟を修理するには10万円必要です。無人島には泳いで行けますが、海にはサメがいて食べられて死ぬかもしれません。あなたは、小舟に乗れるし泳げます。でも、子供は小舟を漕げないし泳げません。村長のタロウさんは重いので小舟に乗れませんが、泳げるので橋はいらないと思っています。ハナコさんは小舟に乗って取りにいけますが、泳げなくて怖いので橋が欲しいと思っています。

ある日、村長のタロウさんが「お金のある人から5万円ずつ集めて、その15万円を払うから、みんなのためにリンゴを取ってきてください。またリンゴは3個ずつにしましょう。」と言いました。もし、あなたとハナコさんが10万円ずつ、村長のタロウさんは100万円もっているとき、あなたは、泳いで行きますか？ または、集めた税金で小舟をなおしますか？ あるいは、怖いので橋を作って欲しいと村長に相談しますか？ そのとき、あなたはいくらまで出しますか？ リンゴは、みんな3個ずつでいいですか？



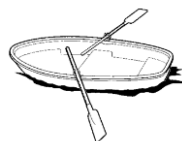
リンゴが12個



小舟を修理すると10万円 橋を作ると50万円

◎無人島に行く方法と所持金

	○小舟に乗れる	×小舟に乗れない
○泳げる	あなた 10万円	タロウ(村長) 100万円
×泳げない	ハナコ 10万円	あなたの子供 0円



サメ！



みんなのお金の合計

120万円

(リンゴ1個=10万円)

※ 自分が満足できるもので相手も納得させるもの、自分の気持ちに一番近いものを選んでみましょう。また、周りの人の意見も聞いてみましょう。

<<< 取りに行く方法 >>>

- 1・・・お金を使わず泳いで行く。
- 2・・・もらった15万円で、小舟をなおして取りに行く。
- 3・・・もらった15万円で、小舟をなおしてお金をあげてハナコさんに代わってもらう。
- 4・・・ハナコさんと協力して自分が村長になって、タロウさんからお金を多く集めて橋を作る。
- 5・・・その他（ ）

<<< リンゴの数 >>>

- 1・・・みんな3個ずつでいい。
- 2・・・取りに行ってくれた人のリンゴを4個にして、自分は2個でガマン。
- 3・・・その他（ ）

◎課題B（裏も見てください）

あなたは、シズシズ村の村長です。シズシズ村は一つの島になっています。

そして、シズシズ村にはいろいろな人が住んでいます。村には全部で10人います。

少し離れたところに無人島があって、リンゴの木にリンゴが毎日10個育ちます。

また、ドリアンの木もあって、ドリアンが毎日10個育ちます。

無人島まで橋をつくるのには50万円必要です。橋が出来ればみんな自分で取りに行けます。

また、村には壊れた小舟が一つあります。小舟を修理するのには10万円必要です。

無人島には泳いで行けますが、海にはサメがいて食べられて死ぬかもしれません。

村には、小舟に乗ることができない人もいますし、ドリアンを嫌いな人が結構います。

泳げるしサメは怖くないけど、人の分は取りに行きたくないと思っている人もいます。

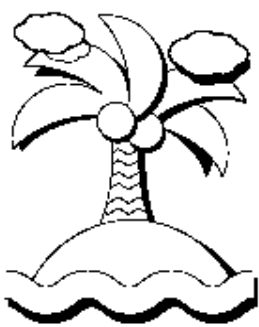
一番お金を多く持っている人は100万円持っていますし、一番少ない人は1万円です。

あなたは、泳いでとりにいくことができるし小舟も乗れます。また10万円もっています。

このとき、あなたは村長としてどうしますか？ みんなのために泳いで取りに行きますか？

橋を作りますか？ 小舟をなおしますか？ そのとき10人からいくらずつ集めますか？

そして、リンゴとドリアンをいくつずつ分けますか？



リンゴが10個とドリアンが10個

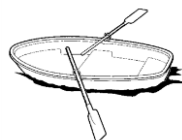


橋を作ると50万円



サメ！

小舟を修理すると10万円



※ 相手を納得させながらも、自分でも納得できる気持ちで一番近いものを選んでみましょう。また、周りの人の意見も聞いてみましょう。

- 1・・・みんなで使える橋を作るため、お金が足りない人を除いてみんなから同じ金額を集める。
足りなかった人からは代わりに通行料を取って、最初にお金を出した人で分ける。
- 2・・・みんなで使える橋を作るため、お金持ちからはお金をたくさん集めて、お金の少ない人からは集めない。さらに、通行料や利用料も取らない。
- 3・・・みんなから1万円ずつ集めて、小舟をなおし、小舟に乗れる人が交代で取りに行く。
取りに行った人には、リンゴかドリアンを多く渡す。
- 4・・・お金を集めず「リンゴもドリアンも1人1つずつ！」と法律を決めて、自分勝手にさせる。
(同) 泳げない人は泳げる人に助けをもらう。代わりにお金を払うかドリアンをあげる。
(同) 橋の欲しい人がお金を集めて橋を作る。お金を出さなかった人が通るとき通行料を取る。
(同) 小舟の欲しい人がお金を集めて小舟を直す。出さなかった人が使うとき使用料を取る。
- 5・・・自分は村長だから、自分のお金は使わずに、橋を作らせる。
- 6・・・村長を辞めて、ほかの人に考えてもらう。

その他 ()

* ホワイトボード2枚の準備

リンゴの数		
結果の平等⇔		
村長	3こ	心
タロウ	3こ	体
ハナコ	3こ	技

税金			
	A 橋	B タロウ	C ハナコ
村長			
タロウ			
ハナコ			

- 1 自己紹介 1分程度で短く
児童を惹きつける

- 2 お金の意味 6分
みんなでお金を出し合うことの大切さ

- 3 例題の確認 3分
「10万円ずつ2個ずつ」以外の意見があるか

- 4 宿題を話し合う 16分程度
事前にグループ分けをして村長役もきめておいて欲しい

- 5 グループ意見の報告 5分
ホワイトボードに集計（時間の短縮で発表はしない）

- 6 総評 6分程度
◎想定される解答（税金の使い方）のポイント
→いらないと思う人がいても橋を作る（公共事業は費用増大）
→タロウかハナコに取りに行かせる（公務員で安く済ませる）
→リンゴの数や集めるお金を変えたりするか
（ 機会の平等 ⇔ 結果の平等 ）

- 7 課題の配布 3分
現在の税制度を考えるきっかけ作り
→Aは危険な公務員の例、Bは意見がまとまらない例

合計40分程度